

---

# ILL担当者から見たIR

---



第5回DRFワークショップ

2009.11.11

香川大学図書館・岩澤尚子

---

# ILL 香川大学の概要

- 平成20年度複写（中央館のみ＝人文社会科学系）

依頼：2,145件 受付：1,994件

過去3年間の推移 依頼↑ 受付↓

- ILL担当

職員1名＋非常勤職員2名

ILL、レファレンス、リテラシーなど担当

H21～リポジトリ（H21.10～1名増）

---

---

# IR:ILL利用者の反応

- ILL利用者(情報収集側)としての声
    - 「やはりとても便利に感じます」
    - 「早く現物が手に入ってよかった」
    - 「無料で助かりました」
  - IR利用者(情報発信側)として
    - 「・・・」
    - 「??」
-

---

# IR:ILL利用者の反応

- 多様な情報収集手段による混乱
- 周知・PR不足
- 「自分流」のやり方へのこだわり

国内・国外・電子ジャーナル・IR など  
一度にまとめて簡単に探せるものが  
あればうれしい

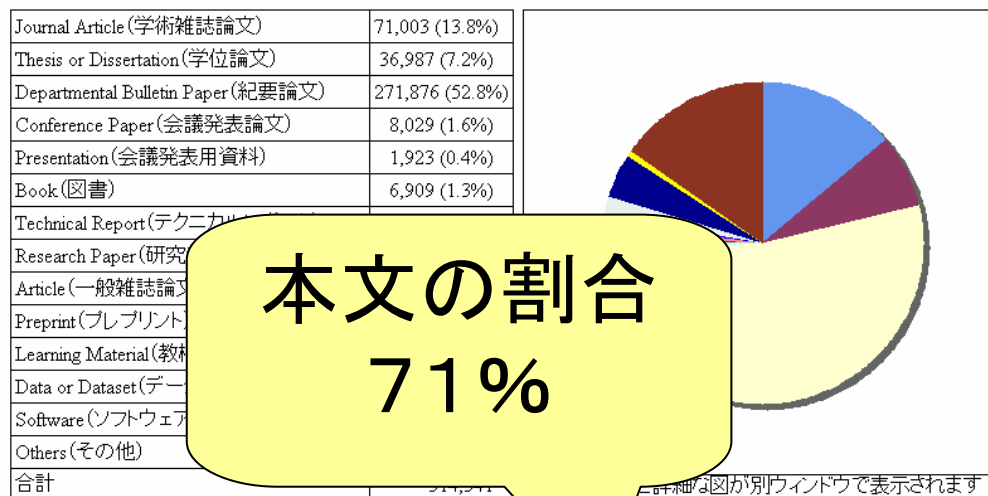
---

# IRで公開されていたが

- 「本文なし」
    - 要旨のみ
    - メタデータのみ
  - 著者版
  - 紀要の場合
    - 目次的ページがあるとうれしい
    - CiNii本文収録刊行物ディレクトリとリンクできれば
-

# IRで公開されていたが

## 資源タイプ別コンテンツ数内訳(割合)

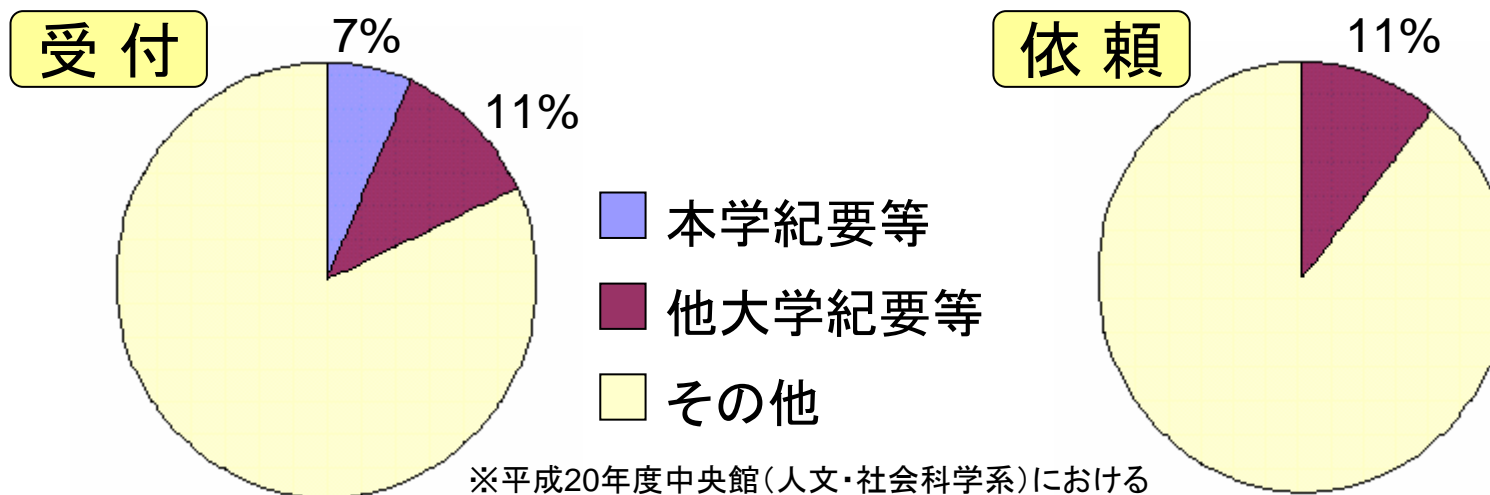


## コンテンツ内容分析

・本文の割合	全体の割合	71.0 %		<a href="#">TSVダウンロード</a>
・版分布	入力率	62.8 %	本文あり	<a href="#">TSVダウンロード</a>
・言語分布	入力率	91.3 %	本文あり	<a href="#">TSVダウンロード</a>
・NDC分布	入力率	40.2 %	本文あり	<a href="#">TSVダウンロード</a>
・ファイル形式分布	入力率	63.8 %	本文あり	<a href="#">TSVダウンロード</a>
・IR整備率	全体の割合	10.1 %		<a href="#">TSVダウンロード</a>

※各IRの設定によっては、本文へのリンク項目がIRDBに提供されておらず、本文があるにもかかわらず、「本文なし」となっているケースもあります。  
※また「本文あり」となっているものでも、本文へのリンクではなく要旨などへのリンクであるケースもあります。」

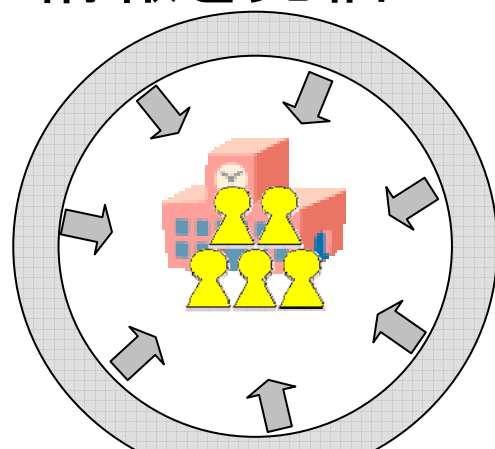
# ILLにおける紀要（本学の場合）



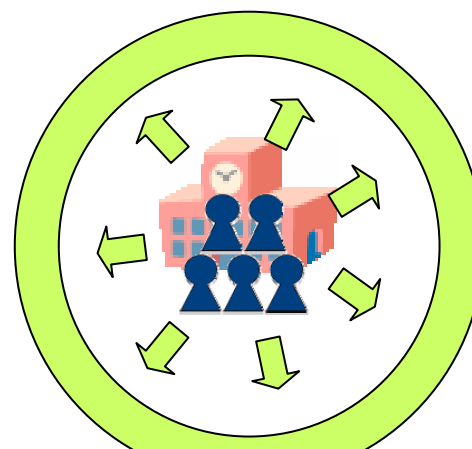
- 優先的にIR公開処理
- 受付件数を学内発行元に知らせる
- 1回スキャンすれば・・・
- 書庫の狭隘化の解消に貢献できるかも・・・

# ILLとIR

- NACSIS-ILL(既にあったサービスの形の変化)  
外の情報を探して集めて提供
- IR(全く新しいサービス)  
中の情報を発信



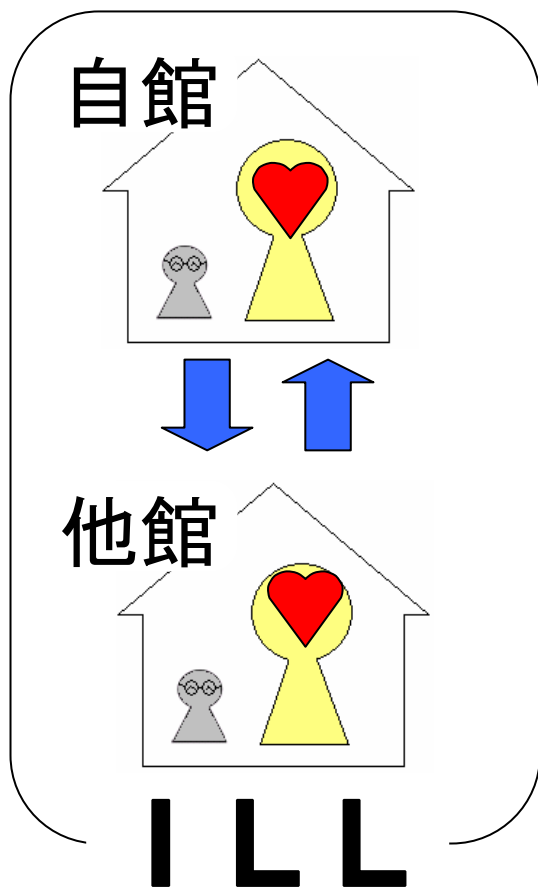
**ILL**



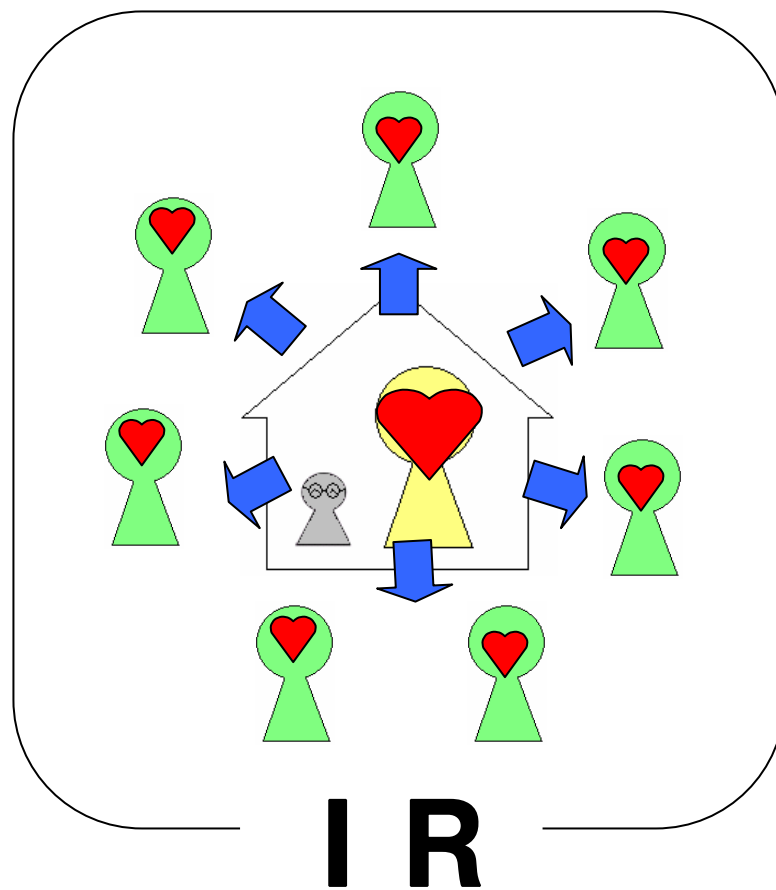
**IR**



# ILLとIR



多くの人に  
喜んでもらいたい



# ILL担当者とIR担当者

- 遠いようで実は近い
- IRcuresILLプロジェクト

CSI領域2

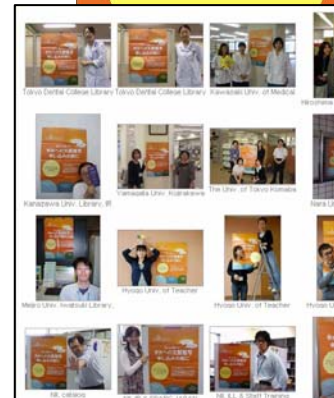
「学術情報資源共有のための図書館間文献デリバリーサービスを機関リポジトリ構築によって代替するための教員・図書館連携方式の開発」

主担当:小樽商科大学

H21.10.19~23

オープンアクセス週間の活動

チームI'LL(アイル)



---

# 使われるIRのために ILL担当者にできること

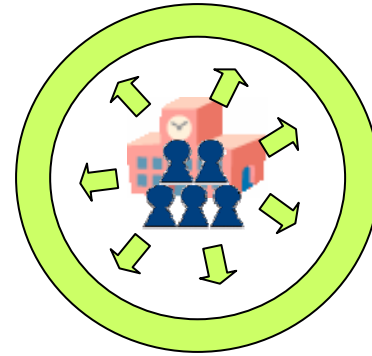
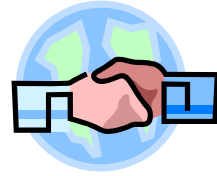
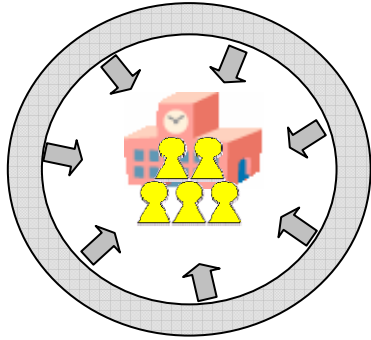
- ILL担当者はキーマン

必要としているもの、されているものが見える  
IRの存在を利用者に伝えることができる

- 図書館員としての意識

長く続けていく普通の仕事になるように  
利用者と喜びを分かち合える仕事になるように

---



**I L L**

**I R**

